



# いしかわ労福協

第 647 号 2021年12月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会  
発行責任者 福田 佳央  
編集人 上野 貞彦  
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号  
電話 (076) 231-1737  
FAX (076) 231-1731  
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>  
[info@ishikawa-rofukukyo.jp](mailto:info@ishikawa-rofukukyo.jp)  
毎月1回 25日発行

## 第6回理事会



12月16日(木)、フレンドパーク石川において、労福協は第6回理事会を役員15名の出席で開催した。

冒頭、福田佳央理事長が「10月からコロナ感染が落ち着きを見せているが、年末年始など人流が多くなる機会を控え、また、新たな変異株

の流行が危惧される。気持ちを引き締めて感染予防に努め、労福協活動を継続していくことが大切である。」と挨拶した。

報告事項では、2022年度自治体要請が12月10日(金)の石川県知事への要請を最後に無事終えたことや第3回自主福祉運動推進会議と題した学習会をハイブリッド方式により開催したことで137名もの参加があったことなどが報告された。

審議事項では、第61回通常総会を6月23日(木)に開催することや2022年度活動方針(案)が提示された。また、第45回研究集会、第18回ライフ・サポートセンター代表者会議の開催などを決定した。

コロナ禍の影響で延期となっていた婚活セミナーを1月29日(土)に開催することも了承され、第4四半期に向けて準備を進めた。

## 谷本県知事に2022年度政策制度等の要請書を手渡す



労福協は、12月10日(金)に、石川県庁に谷本正憲県知事を訪ねて2022年度における政策制度等の要請事項をしたための要請書を手渡した。

当日は、福田佳央理事長のほか、西田満明・野村昇司の両副理事長、渡邊雅人専務理事の4名が訪問し、要請書の手渡し後、福田理事長が長きにわたり県政を支えてくださった感謝を述

べて挨拶したのち、渡邊専務理事が具体的な要請について説明し理解と協力を求めた。

谷本知事は、「労働者福祉への取組みに感謝する。これからも労働者が安心して暮らせる環境づくりに努力されたい。」と挨拶され、和やかな雰囲気の中、要請を終えた。この要請により、本年度における各自治体への要請行動を終えた。

### 「女性のための安心生活相談会」を実施

労福協は、金沢市より受託した「女性安心生活支え合い支援事業」にかかり、8月・10月に加え12月5日(日)に金沢勤労者プラザにおいて、3回目の相談会を開催した。

相談会は、労働、生活、セクハラ、DVなど多岐にわたる内容に対応できるよう、弁護士など女性の相談対応者を配置して行った。

毎回、チラシやFacebookなどを活用するほか、金沢市の広報、公式LINEなどを通じて広く告知しています。

相談は無料で、相談に来られた方には生理用品の配付やいしかわフードバンク・ネットより提供された食材の配付もあります。

最終の相談会は、2月20日(日)金沢市西念3丁目のフレンドパーク石川において開催されます。

女性の弁護士、社会保険労務士、心の支援員が相談に対応します。

コロナ禍において、仕事を失い生活が厳しくなった、賃金が払われない、DV、ハラスメント、離婚など幅広く相談に対応しています。一人で悩まず、まずは相談してみませんか。

### 事務担当者研修会

石川労福協ライフ・サポートセンターは、12月7日(火)、フレンドパーク石川において、第22回ライフ・サポートセンター事務担当者研修会を開催した。

各地域のライフ・サポートセンター事務担当者が参加し、2022年度予算案の作成、2021年

度会計の決算スケジュール、経理処理における注意点など年度末に向けての事務処理について、事務局から提案・説明をした。質疑では、参加者から日常の経理処理・次年度予算の編成と決算スケジュール等についての意見・要望等が出された。

また、毎年実施している事業団体チラシの配布と事業団体支援活動についても事務局から要請し、各地域とも活動の確認をした。



### 第21回大衆運動活動家 合祀追悼会

勤労感謝の日の11月23日(火)、卯辰山にある「石川県大衆運動活動家顕彰之碑」前において、



連合石川・労福協などで構成する石川県大衆運動活動家顕彰会は、労働運動などに取り組んでこられた活動家の合祀追悼会を行った。

例年のとおり雪まじりの雨が降る日に、関係者・遺族が集まり、大衆運動に勤しんできた故人を追悼した。

今年新たに合祀された方は、

故橋本寛(享年 89)

元全専売金沢地方部執行委員長

故竹尻義一(享年 60)

元全日本たばこ産業労働組合金沢支部執行委員長

故東出文代(享年 85)元金沢市議会議員

故庄田望(享年 81)元石川県教組執行委員長

### これからの行事予定

(12月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
1月4日	火	仕事始め	
5日	水	連合石川・石川労福協合同「2022 新春の集い」	ANACP 金沢
17日	月	第4回消費者大会実行委員会	Web
18日	火	中部労福協 第4回幹事会(～19日)	岐阜県
21日	金	消費者支援 NW 第5回理事会	長土堀青少年交流 C
22日	土	連合能登・輪島穴水・珠洲能登 LSC 合同「2022 新春の集い」	こうしゅうえん

## 海外支援米発送式

11月22日(月)、フレンドパーク石川ロビーにおいて、食とみどり、水を守るいしかわネットワークは海外支援米発送式を開催した。

毎年、県内4カ所で作付け・収穫する米作りは、昨年引き続きコロナにより体験することは出来なかったが、協力生産者の理解によりで米の収穫をすることができた。

収穫した米は、飢餓に苦しむアフリカのマリ共和国に贈ることとし、全国からの集荷地である横浜港に向けての発送式が行われた。

今年は、1,050 kgの収穫米のほか、金沢市内の農家から譲り受けた150 kgのお米を合わせた中から870 kgを送ることとなった。

発送式には、この活動を支える

支援団体などが集まり、式典終了後、無事に現地に届けられ支援に繋がることを期待してトラックに積み込んだ。

残る米は、県内で必要とする方に届くよう、労福協を通じて、いしかわフードバンク・ネットに寄贈された。

2年連続コロナにより中止となった農業体験を来年こそは実施できるよう期待する。



## 勤文協

# 『第71回勤美展』開催

石川県勤労者文化協会と石川県が主催する「第71回石川県勤労者美術展」が12月15日(水)から12月19日(日)まで、金沢21世紀美術館にて開催された。今回も昨年引き続きコロナ禍での開催となり、開会式、表彰式の規模を縮小しての開催となった。しかしながら日本画19点、洋画68点、書道38点、写真66点、手工芸33点の合計224点はコロナ禍以前とほぼ同数であり、出品者の変わらぬ創作意欲が印象に残った。その

後各部門の厚生労働大臣賞、県知事賞、県議会議長賞受賞15作品を展示した県庁特別展も従来通り開催されて来訪者の目を楽しませた。



開会式・テープカット



表彰・閉会式

## 日本画



厚生労働大臣賞「私の願いは・・・」  
小野江 佳美(小松市)



石川県知事賞「雪降る中へ」  
伊藤 貴稜(七尾市)



勤文協会長賞「桂の古木」  
河村 俊夫(金沢市)



金沢市長賞「mon rêve (私の夢)」  
末友 恵子(能美市)

洋 画



厚生労働大臣賞『想い』  
高山 静子(津幡町)



石川県知事賞『古寺名利』  
田村 英昭(金沢市)



勤文協会会長賞『朝焼け そわじ浦』  
表 辰祐(中能登町)

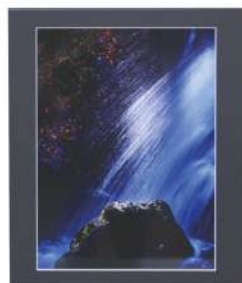


金沢市長賞『金沢城』  
高木 邦雄(金沢市)

写 真



厚生労働大臣賞『春暁』  
橋田 隆吉(金沢市)



石川県知事賞『秋冷』  
村田 秀治(金沢市)



勤文協会会長賞『街角』  
橋本 良信(金沢市)



金沢市長賞『一雫』  
泉谷 桂子(かほく市)

書 道



厚生労働大臣賞『人生訓』  
高井 治(金沢市)



石川県知事賞『渋沢栄一の言葉』  
小倉 陽子(金沢市)



勤文協会会長賞『アルデバラン』  
豊島 富美枝(金沢市)



金沢市長賞『寺の庭』  
寺西 香月(内灘町)

手 工 芸



厚生労働大臣賞『永遠に』  
宮本 麻里子(金沢市)



石川県知事賞『集積回路』  
川崎 晴夫(白山市)



勤文協会会長賞『象嵌細工扁壺』  
浅井 一成(野々市市)



金沢市長賞『夢の中へ』  
広川 みのり(内灘町)